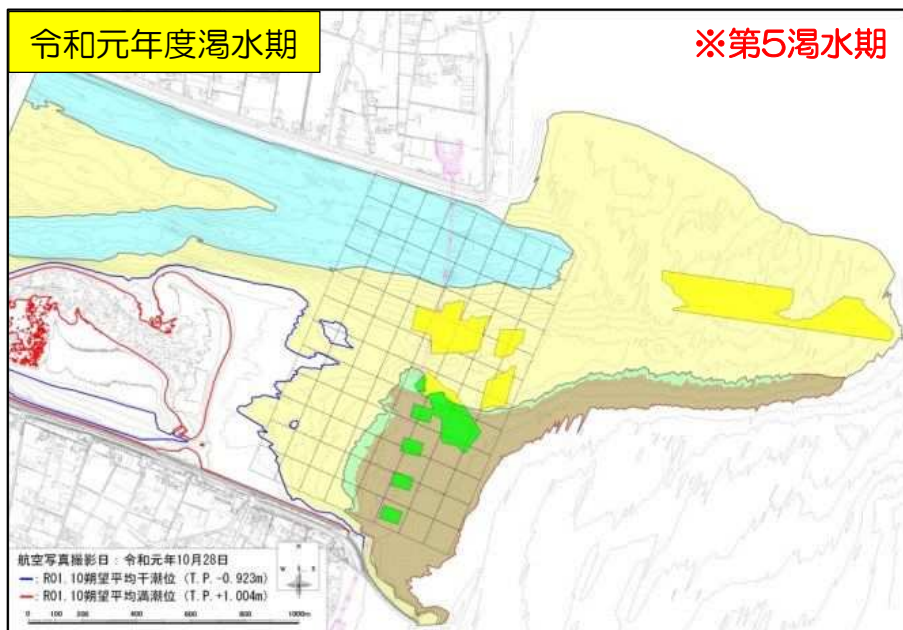


■ 浚渫の影響評価 ～区分2の指標種における影響値の比較～



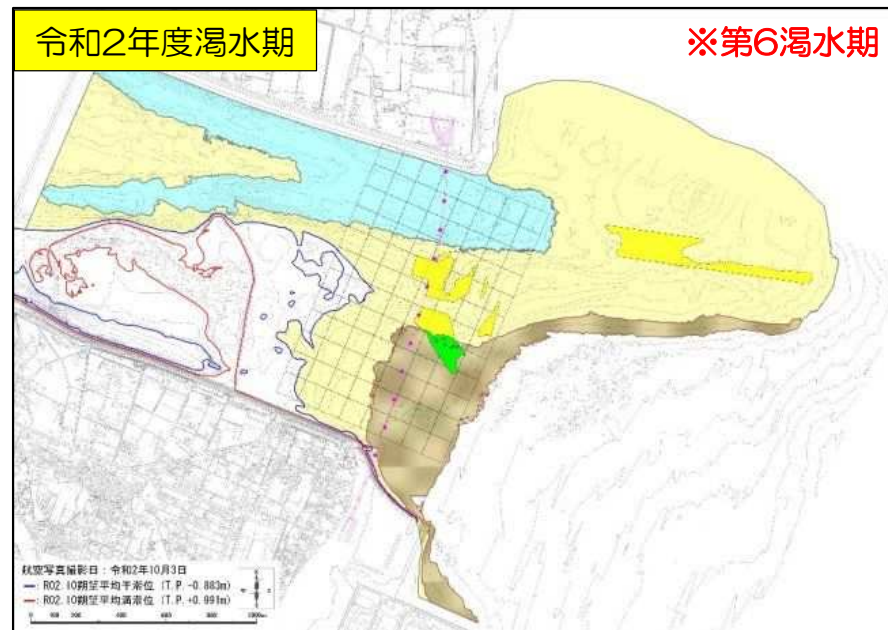
第12回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分2の指標種において影響値は下がっていることが確認された。 ※過去最少の影響値となった。

■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第12回検討会）



項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m ²
生息可能場面積	391,566
浚渫面積	34,764
浚渫の影響評価	8.9%

■ 区分2の指標種の生息可能範囲（第14回検討会）



項目	チヨノハナガイ シノブハネエラスピオ
	m ²
生息可能場面積	410,236
浚渫面積	11,645
浚渫の影響評価	2.8%

影響値が減少